

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 5 年 6 月 13 日(2023.6.13)

【公開番号】特開 2022-109130(P2022-109130A)

【公開日】令和 4 年 7 月 27 日(2022.7.27)

【年通号数】公開公報(特許)2022-136

【出願番号】特願 2021-4482(P2021-4482)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 6 月 2 日(2023.6.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技領域が形成された遊技盤を備え、始動入賞の成立に基づいて図柄変動遊技を行うとともに該図柄変動遊技中に図柄変動演出を実行可能な遊技機において、

前記遊技盤よりも前方に設けられる枠飾り部材を備え、

前記枠飾り部材は、工具を用いることなく所定の操作によって未装着にすることができ
るものであり、前記枠飾り部材が未装着の場合であっても図柄変動遊技の進行が可能であ
り、

前記枠飾り部材が未装着の場合には、図柄変動演出の一部の演出要素を抑制態様にして
演出を進行可能とされるものの、特定の状況で前記枠飾り部材が未装着になった場合には
、図柄変動演出の一部の演出要素を前記抑制態様にすることなく通常態様で演出を進行可
能であり、

30

さらに、遊技を停止させる特殊期間を設け、

該特殊期間にある間に前記枠飾り部材が未装着とされた場合には、該未装着とされたこ
とを条件に前記抑制態様とされないものであり、

さらに、特定操作部に対する操作を受けて演出音量を変化させることが可能な音量変更
手段を備え、

前記抑制態様とされているときには、前記特定操作部が操作されたとしても演出音量が
変化しないものであり、

さらに、前記抑制態様とされているときに前記枠飾り部材が装着された場合であっても
、図柄変動演出を前記通常態様にせず前記抑制態様が継続可能とされる

40

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記した目的を達成するために、請求項 1 に係る発明においては、
遊技領域が形成された遊技盤を備え、始動入賞の成立に基づいて図柄変動遊技を行うと

50

ともに該図柄変動遊技中に図柄変動演出を実行可能な遊技機において、

前記遊技盤よりも前方に設けられる枠飾り部材を備え、

前記枠飾り部材は、工具を用いることなく所定の操作によって未装着にすることができ
るものであり、前記枠飾り部材が未装着の場合であっても図柄変動遊技の進行が可能であ
り、

前記枠飾り部材が未装着の場合には、図柄変動演出の一部の演出要素を抑制態様にして
演出を進行可能とされるものの、特定の状況で前記枠飾り部材が未装着になった場合には
、図柄変動演出の一部の演出要素を前記抑制態様にすることなく通常態様で演出を進行可
能であり、

さらに、遊技を停止させる特殊期間を設け、

該特殊期間にある間に前記枠飾り部材が未装着とされた場合には、該未装着とされたこ
とを条件に前記抑制態様とされないものであり、

さらに、特定操作部に対する操作を受けて演出音量を変化させることが可能な音量変更
手段を備え、

前記抑制態様とされているときには、前記特定操作部が操作されたとしても演出音量が
変化しないものであり、

さらに、前記抑制態様とされているときに前記枠飾り部材が装着された場合であっても
、図柄変動演出を前記通常態様にせず前記抑制態様が継続可能とされる

ことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

10

20

30

40

50